

角田市総合教育会議 会議要旨

会 議 名	令和8年度 第1回角田市総合教育会議
開 催 場 所	角田市役所 東庁舎3階 301会議室
開 催 日 時	令和8年6月16日（火）午後4時30分～午後5時30分
出 席 者	14名（別紙 出席者名簿のとおり）
事 務 局	総務部企画デジタル課
（次 第） 1. 開 会 2. 開会あいさつ（市長） 3. 協 議 （1）角田市新中学校整備基本計画について （2）角田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について 4. その他 5. 閉会あいさつ（教育長） 6. 閉 会	
（会議要旨） 3 協 議 （1）角田市新中学校整備基本計画について 説明者：堀米教育次長 説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。（説明要旨省略） 協議要旨 ・学ぶ主体のある子供たちに、本当にいい学びの環境を得られるようになっていけばよい。特に大事なところは、箱物が大切ではなく、どんな学びがそこで行われ提供されるか、どんな風に子供たちが主体的に学んでいくかがとても大事だと考えている。 ・今回、中学校の子供たちの将来に向けた会議でとても良い結果が出たのではないかなと思う。ぜひ事例を反映させていただきたい。時間があるのであれば、現在の高校生たちの意見もある程度聞いていただきたい。なるべくその子供たちの思いが通じるような学校にしていいただきたい。 ・すごく色々な形の校舎が提示されていてとても良いと思う。西側配置、北側配置、南側配置、L字型や集中型など。L字型にするのか集中型にするのかはさておき、使いやすい形がよいと感じる。第1学年が4クラス、第2、3学年が5クラスとなっており、将来的には4クラスと減少していくため、その辺の計画も見据えておいた方がよいという印象を持った。 ・基本方針の具体策がすごくしっかりとまとまっている。そのためすごく安心すると思う。親としても子供たちが過ごしやすい環境で活動もしやすい事がすごくよいと思う。新しい中学校の基本方針に則った施設だと感じ、非常に良かった。 ・今の教育のあり方は自分たちで考えて調べていくことが求められる時代だと思う。校舎のレイアウトひとつとっても、どういう目標を持って新しい角田中学校を作っていくのかを考えさせられ	

る。また、小学校の授業ではタブレット端末を使って小学生がイメージの絵を描くことは素晴らしいと思いながら、授業を見学した。これから AI に取って代わられる職業が出てくる時代で子供たちが、新しい学びを得て自分を作っていくことを考えた時に新しい中学校は非常に大切だと思う。ぜひ色々な意見を取り入れて頂きたいと思う。

- 角田中学校の授業を拝見した。まさに教室の中で、1 人 1 人がタブレットで調べている人もいれば、話し合いをしているグループもあれば、自由進度学習が行われていた。ただ、壁に囲まれた狭い教室で行っていたため、壁がなかったらよいと思う。もっと子供たちにも色々な動きが出てくるのではないかと思いながら見ていた。教室という箱を並べて、廊下に繋ぐという従来の形ではなく、廊下は廊下でありながらホールであったり、語らいの場であったり、教室も箱でありながら、壁を一つ取り払うと、ホールに繋がるというようなフレキシブルな施設がこれからは必要。開放的で木のぬくもりがあって、子供たちが行きたくなるようなそんな学校を作りたいと感じ、そこは色々な方々の知恵を拝借しながら考えていきたいと思う。

(2) 角田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

説明者：堀米教育次長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略)

協議要旨

- 今回、先生方の勤怠管理システムも含めた働き方改革に向けた具体的な計画となり執行される。計画が計画だけにならないようにしていただきたい。家庭でもそうだが親が健全であれば、子供たちも健全になる。先生が健康で学びの指導者となれば、その子供たちも同じように育っていくと思う。環境整備についてもスタートになればよいと思う。
- とても素晴らしいと思う。計画の趣旨や目標は A4 サイズ 1 枚位のもので分かりやすく常に持ち歩けるようなものの方が先生方も良いと思う。もう一点は、部活動で土曜日練習試合に行けば 7 ～8 時間の労働時間になる。労働時間を教育委員会でどう考えるかだと思う。
- 今、私が勤めているところでもあるあるですが、勤怠システムは押してから勤務すると意味はない。
- 校務支援システムとはどういうものでしょうか？
→学校の事務用ソフトのこと。重要学習用のソフトと児童用のソフトで出席管理を全て一括してできる。
- 部活動の話が出たが、オフシーズンとハイシーズンでメリハリをつけることになっている。勤怠システムを入れた一番の効果は自分で働く時間をセルフコントロールできるということだと思う。
- 計画に沿ってこれを実際活かしていけるようにしたいと思う。教育委員会と市長部局と共通認識を持ち、進んでいきたい。

令和8年度 第1回角田市総合教育会議出席者名簿

○会議構成員（6名出席）

市長	黒須	貫
〔教育委員会〕		
教育長	永井	哲
教育委員会委員	大内	啓邦
教育委員会委員	毒島	弘美
教育委員会委員	信濃	光男
教育委員会委員	平山	一恵

○事務局関係（8名）

教育次長兼教育総務課長	堀米	直江
企画デジタル課長	森	敦
企画デジタル課長補佐	大沼	寿宏
教育総務課主幹	高橋	正明
教育総務課新中学校整備係長	菊地	康之
教育総務課学務係長	遠藤	ゆか
企画デジタル課企画調整係長	佐々木	愛子
企画デジタル課企画調整係主査	針生	宗典

（敬称略・順不同）